

事業コード	R4-建-新-03		区 分	● 国庫補助 ・ ○ 県単独
事業名	通常砂防事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防えん堤工		班 名	砂防・防災班 (tel)018-860-2518
路線名等	湯ノ沢ノ沢		担当課長名	河川砂防課長 小野 潔
箇所名	美郷町金沢東根		担当者名	砂防・防災班 由利 一
プランとの関連	政策コード	07	政策名	防災減災・交通基盤
	施策コード	01	施策名	強靱な県土の実現と防災力の強化
	指標コード	04	施策目標(指標)名	県民の生命と財産を守る安全な地域づくり

1. 事業の概要

事業期間	R5～R9(5年)	総事業費	2.6億円	国庫補助率	1/2																																																																		
事業規模	○砂防えん堤1基(H=6.0m L=65.5m)、溪流保全工(L=92.0m)																																																																						
事業の立案に至る背景	<ul style="list-style-type: none"> ○湯ノ沢ノ沢は、一級河川雄物川水系丸子川に流下する流域面積A=0.32km²の土石流危険溪流(432-I-001)である。 ○令和2年7月の豪雨で土砂流出が発生し、町道が通行止めとなった。 ○流域調査により、谷頭部から下流部にかけて溪床に厚く土砂が堆積し、流域全体にスギが密に生えている状況を確認。 ○土石流対策施設が整備されていないため、出水時に土砂・流木が下流へ流出する可能性があり、地元からも土石流対策施設の整備要望が高い。 ○下流には人家14戸に加え、4.5haの耕作地や町道(避難路)450mの保全対象がある。 ○本事業では、土石流捕捉対策として砂防堰堤1基(透過型 H=6.0m)及び土砂・洪水を安全に流下させるための溪流保全工を整備し、土砂災害対策を進めるものである。 																																																																						
事業目的	<p>【主たる目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○砂防設備の整備により、下流の人家や避難路である町道を保全し、地域の安全・安心な暮らしを確保する。 <p>【保全対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人家14戸 ○町道(避難路)L=450m ○耕地A=4.5ha 																																																																						
事業費内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>全 体</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td>事業費</td> <td>260,000</td> <td>46,000</td> <td>22,000</td> <td>112,000</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>工事費</td> <td>140,000</td> <td></td> <td></td> <td>110,000</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>10,000</td> <td></td> <td>10,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">財源</td> <td>その他</td> <td>110,000</td> <td>46,000</td> <td>12,000</td> <td>2,000</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>国庫補助</td> <td>130,000</td> <td>23,000</td> <td>11,000</td> <td>56,000</td> <td>40,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>県債</td> <td>117,000</td> <td>20,700</td> <td>9,900</td> <td>50,400</td> <td>36,000</td> </tr> <tr> <td>その他一般財源</td> <td>13,000</td> <td>2,300</td> <td>1,100</td> <td>5,600</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td></td> <td></td> <td>詳細設計 地質調査</td> <td>用地測量 砂防指定 用地補償</td> <td>砂防堰堤工 工事用道路</td> <td>副堤工 溪流保全工 付替道路</td> </tr> </tbody> </table>							全 体	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度以降	事業費	事業費	260,000	46,000	22,000	112,000	80,000	経費						内訳	工事費	140,000			110,000	30,000	用補費	10,000		10,000			財源	その他	110,000	46,000	12,000	2,000	50,000	国庫補助	130,000	23,000	11,000	56,000	40,000	内訳	県債	117,000	20,700	9,900	50,400	36,000	その他一般財源	13,000	2,300	1,100	5,600	4,000	事業内容			詳細設計 地質調査	用地測量 砂防指定 用地補償	砂防堰堤工 工事用道路	副堤工 溪流保全工 付替道路
		全 体	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度以降																																																																	
事業費	事業費	260,000	46,000	22,000	112,000	80,000																																																																	
	経費																																																																						
内訳	工事費	140,000			110,000	30,000																																																																	
	用補費	10,000		10,000																																																																			
財源	その他	110,000	46,000	12,000	2,000	50,000																																																																	
	国庫補助	130,000	23,000	11,000	56,000	40,000																																																																	
内訳	県債	117,000	20,700	9,900	50,400	36,000																																																																	
	その他一般財源	13,000	2,300	1,100	5,600	4,000																																																																	
事業内容			詳細設計 地質調査	用地測量 砂防指定 用地補償	砂防堰堤工 工事用道路	副堤工 溪流保全工 付替道路																																																																	
調査経緯	<ul style="list-style-type: none"> ○平成28年度 土砂災害警戒区域指定 ○令和3年度 県単砂防事業 砂防流域調査 																																																																						
上位計画での位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ○～大変革の時代～新秋田元気創造プランにおける基本政策「防災減災・交通基盤」を推進 ○秋田県防災・減災・国土強靱化計画における推進方針に合致 																																																																						
関連プロジェクト等	○特になし																																																																						
事業を取り巻く情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○全国的に雨の降り方が局地化・集中化・激甚化しており、令和元年の土砂災害の発生件数は1,996件で、統計を開始した昭和57年以降4番目に多い件数を記録している。 ○県内においても平成29年7月22～23日の豪雨では、土砂災害による被害が55件発生するなど、集中豪雨による自然災害への懸念が高まっており、ソフト・ハード両面の対策が重要である。 																																																																						
事業効果把握の手法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th colspan="4">土石流危険溪流に対する概成率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">対策済み溪流数/土石流危険溪流数(%)</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td colspan="2">○成果指標 ●業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>○有 ●無</td> </tr> <tr> <td>目標値a</td> <td colspan="2">17.4%(R7末)</td> <td rowspan="2">データ等の出典</td> <td rowspan="2">河川砂防課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値b</td> <td colspan="2">17.1%(R3末)</td> </tr> <tr> <td>達成率b/a</td> <td colspan="2">98.3%</td> <td>把握の時期</td> <td>令和4年3月</td> </tr> </tbody> </table> <p>※秋田県防災・減災・国土強靱化計画における目標値を記載。</p>					指標名	土石流危険溪流に対する概成率(%)				指標式	対策済み溪流数/土石流危険溪流数(%)				指標の種類	○成果指標 ●業績指標		低減指標の有無	○有 ●無	目標値a	17.4%(R7末)		データ等の出典	河川砂防課調べ	実績値b	17.1%(R3末)		達成率b/a	98.3%		把握の時期	令和4年3月																																						
指標名	土石流危険溪流に対する概成率(%)																																																																						
指標式	対策済み溪流数/土石流危険溪流数(%)																																																																						
指標の種類	○成果指標 ●業績指標		低減指標の有無	○有 ●無																																																																			
目標値a	17.4%(R7末)		データ等の出典	河川砂防課調べ																																																																			
実績値b	17.1%(R3末)																																																																						
達成率b/a	98.3%		把握の時期	令和4年3月																																																																			

2. 所管課の1次評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評価点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土石流が発生した場合、人家への直接被害のほか、避難路である町道の被災による緊急時の交通手段確保が困難となるため、事業実施の必要性は高い。 ○ 砂防法第5条により工事の施工は都道府県が行うものと位置付けられている。 	27 点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当該溪流は令和2年の集中豪雨により、避難路へ不安定土砂や流木が流出・堆積して通行止めが発生した。今後も豪雨等による土砂災害をもたらす恐れがあるため、早急な整備が必要である。 	33 点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 砂防設備を整備することにより、土砂災害から人命や財産が守られ、下流域の安全性が確保される。 ○ 土石流危険溪流に対する整備率向上に直接寄与する事業である。 ○ 土砂災害防止法に係る基礎調査の結果を踏まえ、土砂災害特別警戒区域及び警戒区域に指定済みであり、美郷町のハザードマップにも掲載され、ホームページで公表するなどソフト面での対策も併せて実施している。 	10 点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の費用便益比は4.71であり効率性は高い。 <ul style="list-style-type: none"> ・総費用の現在価値 2.33億円 ・総便益の現在価値 10.97億円 ○ 事業実施においては、残存型枠使用によるコスト削減の検討を行う。 	15 点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨今の集中豪雨による各地の被害や、土砂災害防止法による土砂災害警戒区域の指定を受け、美郷町の防災意識が高く、砂防施設整備の必要性を強く認識している。 ○ 美郷町及び地元自治会から土石流対策の早期実施について要望書が提出されている。 	10 点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III)	95 点
	多くの項目において評価点が高く、住民の人命・財産だけでなく、重要な公共施設を保全するため、必要性が高い。	
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
X	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
X	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 砂防事業

事業コード (R4-建-新-03)
箇所名 (美郷町金沢東根)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	災害発生時の影響 (被害想定)	人家戸数	20戸以上	10	7	・14戸
			5戸以上19戸以下	7		
			1戸以上4戸以下	3		
			なし	0		
	公共・公益施設の状況		以下の公共・公益施設がある 要配慮者利用施設 重要交通 (緊急輸送道路、避難路、鉄道等) 防災拠点 (警察、消防、役場等) ライフライン施設 (電力、ガス、水道等)	10	10	・重要交通 (避難路)
			その他の公共・公益施設がある	5		
			なし	0		
	事業の必要性					
	県関与の必要性		法令等で県が実施する事業	5	5	・砂防法により県が施行する工事
県が実施すべき広域的な事業			3			
県が実施した方が望ましい事業			1			
流域の整備状況						
砂防設備の整備状況		未整備	5	5	・未整備	
		低い (土砂整備率30%以下)	3			
		低い (土砂整備率30%超)	1			
計			30	27		
緊急性	災害実績	過去の災害発生履歴	過去3年以内に災害が発生	10	10	・令和2年7月に災害が発生
			過去10年以内に災害が発生	8		
			上記より以前に災害発生の記録がある	5		
			災害発生履歴なし	0		
	災害発生の危険度					
	想定される流出土砂量		1,000m ³ 以上	10	10	・15,010m ³
			1,000m ³ 未満	5		
	想定される流出流量		20m ³ 以上	10	10	・1,674m ³
20m ³ 未満			5			
荒廃面積		流域面積の10%以上	5	3	・流域面積の0.5%	
		流域面積の10%未満	3			
計			35	33		
有効性	関連計画への貢献	秋田県防災・減災・国土強靱化計画	計画に関連する事業である	5	5	・「土石流や崖崩れに巻き込まれる」ことを回避するための推進方針に関連する事業
			上記以外の事業である	0		
	ソフト対策との関連性					
	土砂災害警戒区域等の指定状況		土砂災害特別警戒区域に指定	5	5	・土砂災害警戒区域・特別警戒区域指定済み
			土砂災害警戒区域に指定	3		
なし			0			
計			10	10		
効率性	費用対効果	費用便益比 (B/C)	1.0以上	10	10	・B/C=4.71
			1.0未満	0		
	事業実施コストの縮減					
	コスト縮減の具体的計画	あり	5	5	・残存型枠施工等の採用を検討し、縮減を図る	
なし	0					
計			15	15		
熟度	地元の状況	地元の協力体制	事業への理解が得られている	5	5	・地元自治会より要望有り
			事業への理解が概ね得られている	3		
			事業への理解が得られていない	0		
	関係自治体の協力体制		事業に協力的であり、要望書提出済み	5	5	・美郷町より要望有り
			事業に協力的であるが、要望書は未提出	3		
計			10	10		
合計				100	95	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	判定ランクIであり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		